



東京都立立川学園 進路・キャリア支援部だより 11月号

令和7年11月21日
東京都立立川学園校長
市川 裕二

あしたのために

高等部職場実習紹介（タッチ部門）

10月から、高等部普通科2年生と専攻科1年生の職場実習が始まっています。今月号と来月号で、どんな職の会社で実習を行ったか、どんな目標をもって実習に取り組んでいたかなど、紹介していきたいと思います。是非読んでいただき、今後の進路に役立ててほしいと思います。

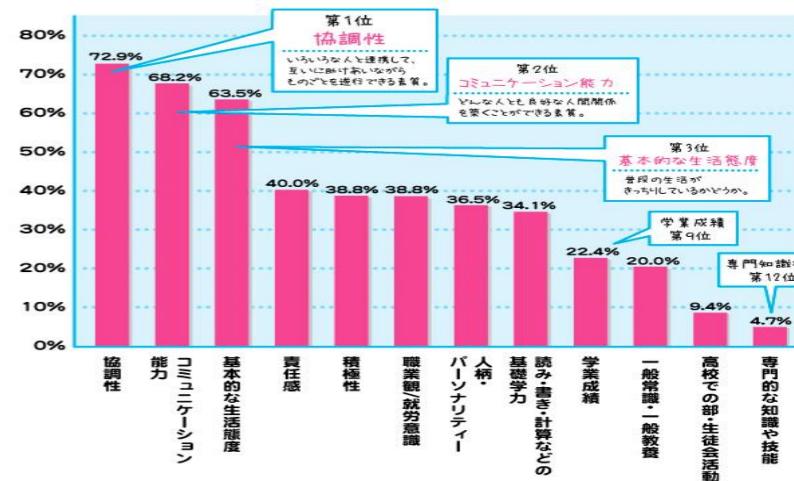
実習先職種	セキュリティ関係会社の特例子会社
実習での目標	<ul style="list-style-type: none"> 1. 職場および仕事がどういうものかを知る。 2. 自分から積極的にコミュニケーションを取り、分からることは質問する。 3. 報告・連絡・相談を実践し、言葉遣いにも注意する。
実習内容	<ul style="list-style-type: none"> ・会社に届いた端末（パソコンなど）の状態の確認と機種などのデータ入力と保管。 ・会社から送る部材や端末等の機種などのデータが合っているか確認し梱包。送り状（伝票）の作成と印刷と貼付し準備完了のメール作成と送信。 ・依頼された会社に届いたメールなどにインターネットウイルスが無いか検査して、その結果をまとめたメールを作成して送信。 ・会社の資料の準備。 ・封筒に修正用の訂正用横棒はんこを押した。 ・前日までに依頼された会社に届いたメールの件数を確認して、結果をエクセルにまとめる。まとめたエクセルを添付したメールを作成して送信。 ・前日までに依頼された会社に届いたファイルの件数を確認して、エラーを起こしたファイルがないか検査する。その結果をメールにまとめて作成して送信。 ・会社に届いたお手紙を専用の場所から上司を持って行く。 ・親会社のお客様アンケートを自由意見が無いか、感想が書かれているか、不安やクレームが書いてあるか、の3種に分類する。そのアンケート内容をスキャナで読み取り、読み取り結果を確認し間違いがあったら手直しする。 ・子ども安全教室で使う教材を依頼された分を確認して梱包する。送り状（伝票）を作成して貼付した。
実習で良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を丁寧にできた。 ・仕事で特段ミスがなかった。 ・遅刻・欠席・早退が無かった。
実習での課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションが少ない。 ・相手の話に対する反応が薄い。

実習での目標達成度	<ol style="list-style-type: none"> 1. 職場および仕事がどういうものかを知る。 →できた 2. 自分から積極的にコミュニケーションを取り、分からることは質問する。→積極的にはあまりできなかつたが、必要なコミュニケーションや質問はできた。 3. 報告・連絡・相談を実践し、言葉遣いにも注意する。→報告・連絡・相談はできなかつたこともあるが、言葉遣いに問題は無かつた。
今後の学校生活で頑張ること	<ul style="list-style-type: none"> ・体を鍛えて、体力をつける。（通勤のため） ・今回のこと振り返ったり、他の実習等を踏まえたりして、会社探しと会社選びの判断基準をもてるようになる。

今回は1名の実習を紹介しました。目標を3つ書いていますが、2つがコミュニケーションに関する目標になっています。仕事では「報連相」が基本になります。これもコミュニケーションを取れないとできないことです。分からぬ時は相談して進める、仕事が終わったら報告する、予定が変更になった時などは連絡する、できるようにしていきましょう。

企業が求めている力の1位と2位を占めるのは、「協調性」と「コミュニケーション能力」です。会社に入ると、同期の社員、上司や先輩、取引先など、いろいろな人と関係を作らなければいけません。一緒に働く仲間なのに、周りに溶け込みます、自分

勝手な行動をする人がいると、会社の雰囲気も悪くなってしまいます。成績が優秀でも、会社はそんな人は採用したいと思いません。会社は1つのチームです。チームである以上、何よりもチームワークが大切になります。そのためには、「コミュニケーション能力」「協調性」が採用において重要な要素となります。学校生活でも意識してほしいです。



やーえ部門進路講演会②

～ 講演後のアンケートの質問にお答えします～

質問：言葉が話せないのですが、社会のルールや人との付き合い方（距離感など）日々やっていくうちにそれなりにできるようになるものでしょうか。

回答：社会のルールや人との付き合い方を学ぶことは、その人が「楽しく」「楽に」生きていくために大切なことです。立川学園ややーえ部門小中学部と同様、武蔵台学園高等部でも、個々の生徒に合わせ、絵カードやサインなどを使って、コミュニケーションを学んでいます。武蔵台学園高等部入学時には集団活動に入れなかった生徒が、卒業までは教室での活動に参加し、卒業式にも参加できた例もあります。生徒の気持ちに寄り添いつつ、一歩一歩進んでいければと思います。